

今月の 新刊紹介



救急・集中ケアにおける 終末期看護プラクティスガイド

監修：日本クリティカルケア看護学会、
日本救急看護学会
発行：医学書院
定価：3960 円（本体 3600 円＋税）
A4判 120 ページ

特有の悩みと困難さを伴う急性期の終末期看護。本書では患者・家族の QOL と QOD を向上させ、よりよい看護を実践するために、終末期看護の概念を整理し、臨床現場で活用できる具体的なケアを提案。急性期の現場で日々の看護に活用できる実践的ガイド。



認知症 plus 身体疾患 加齢変化をふまえた適切な 治療とケアのためのかわり

編著：高山成子、大津美香、久米真代
発行：日本看護協会出版会
定価：2640 円（本体 2400 円＋税）
B5判 148 ページ

身体疾患の悪化で入院した認知症高齢者が、認知症を悪化させずに早期退院するためのケアのポイントを紹介。認知症高齢者に特有の表現や治療の経過で起こりやすい状況、疾患別の具体的なケアの解説には、「これならできそう」と思えるヒントが満載。



みんなの研究倫理入門 臨床研究になぜこんな面倒な手続きが必要なのか

著：田代志門
発行：医学書院
定価：2640 円（本体 2400 円＋税）
四六判 306 ページ

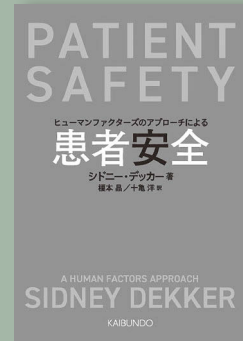
「研究と診療の区別」「インフォームド・コンセント」「リスク・ベネフィット評価」「研究対象者の公正な選択」を軸に、身近な疑問を解決しながら研究倫理の世界を開く。「気の重くなる手続き」である研究倫理の印象が、創造的かつ知的なものへと変わる 1 冊。



1on1 ミーティング 「対話の質」が組織の強さを決める

著：本間浩輔、吉澤幸太
発行：ダイヤモンド社
定価：2200 円（本体 2000 円＋税）
A5判 304 ページ

2020 年 10 月号の特集で紹介した「1 on 1 ミーティング」は、近年、部下の成長を促し組織のパフォーマンスを上げるコミュニケーション手法として注目されている。特集にも登場しヤフーの人事革命を担ってきた本間氏が、その知見を分かりやすくまとめた第 2 弾は管理者必読。



ヒューマンファクターズのアプローチによる 患者安全

著：シドニー・デッカー
訳：榎本晶、十亀洋
発行：海文堂出版
定価：4400 円（本体 4000 円＋税）
A5判 388 ページ

患者安全を脅かすリスクが医療者を取り巻くシステム内部にあるとの考えのもと、「コミュニケーション」「認知プロセス」「組織・職場の文化」など、多岐にわたるリスクの発生ポイントを解説。患者安全を現場の人たちだけに負わせない指針を示す。



ファンベースなひとたち ファンと共に歩んだ企業 10 の成功ストーリー

著：佐藤尚之、津田匡保
漫画：おぐらなおみ
発行：日経 BP 社
定価：1870 円（本体 1700 円＋税）
A5判 304 ページ

ファンベースとは、企業が大切にする価値を支持してくれる「ファン」を基盤として、中長期的に売り上げや価値を上げていくこと。本書は、ファンベース理論の概要と 10 社の具体的な取り組みを分かりやすく解説。人口減少社会における顧客創造の参考に。

看護管理に
効く
1 冊

看護管理に
効く
1 冊